

系文製錦

春夏

一



昔の歌をよむとおの人のあや

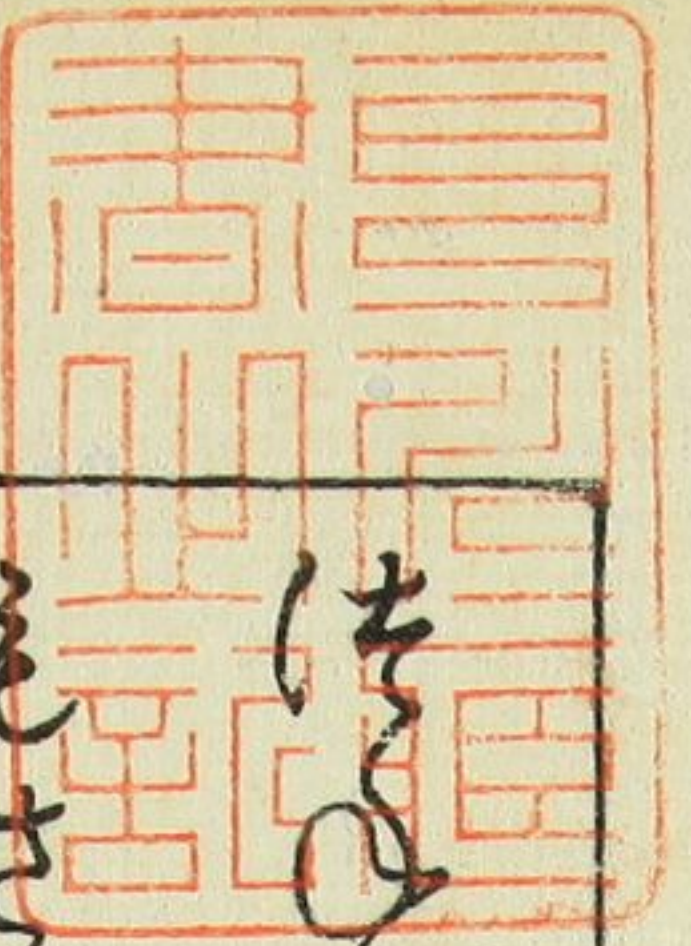
もたぬ文とらぬおののちのち

くちのちのちのちのちのちのち

うきまがいのせいのちのちのち

うきまがいのせいのちのちのち

やうなつうのちのちのちのち



のたまふ〜
まほ〜
おち〜
てん〜
まほ〜
まほ〜

い〜
ま〜
ま〜
ま〜
ま〜
ま〜
ま〜
ま〜
ま〜
ま〜

ふとおちめねど文章のそとハそと見
何れにびらりていかにいかにあり
新なまきふ下なまむめもいかに道り
ともぐねとて此ごろ出らざる書何れ紫糸
何れこととの錦を何とやりふりぬりそれ
もいかに海ふりくり出ると思ひぬりしそ

於この名を記立田姓の糸したふ又志くお
何れにびらりていかにいかにあり
よれた書うねと足もてゆへ桐部布よめ
ちとめ夢の浮橋まで春このも糸いらく
さぬことたうきたるものむりふあちまけ
てたうさむらぬるもあく何れを教いでる

おなん何りけるそハ衿袷何る袖何るハ帯
袴等の料と物なり見もあり多むいさくり
なるさいでめたる母何りうらまきしてわが
るめしこバや大ふ多くと古ことふいひま
やうふせしつにけるも何の内藏寮縫後つさ
きよおおやけし〜ましけ〜おのまかや

何む納履御へげぬふみそひら衣多た
ふうさひけ今てういんとせし
かくやあ〜うさ〜何ておけ〜く
おん
大織あ〜おのた〜つれと〜
くひあひ〜お〜こあやふ〜ま

くちんけいのかゝる言葉とをも縁よせまゝ
いりせしちあひしあひくつてさりて
ふんふハその文章よ柳橋の春の大踏
漢語也立田川の杖の糸糸あもをさ
おとまきくいふみやひうあつむと思ひや
らふうーいあはれつらぬー例のくつらむ

とあひのふんけいりあひよむまはれみ
さやをかくむ

文化四年春

本居大平

一 け書は中む。此言集はをさるるをて。文かむ。さ
すは。うむまねびり。人まらけ。めい。さ。も。け。ま。と
け。ま。な。ぬ。ま。文。か。む。た。す。け。は。さ。ら。ん。た。は。ゆ。は
事。と。ま。を。ば。お。は。つ。ま。ら。す。さ。さ。く。集。め。い。ら。り。
志。の。社。ま。け。書。の。あ。け。め。い。は。は。い。ま。を。は
な。が。う。已。の。文。に。の。用。む。ま。さ。ま。あ。い。け。書
に。集。め。い。は。は。い。ま。い。ま。の。て。中。む。此。言。集
け。の。む。を。ん。ち。を。ま。て。雅。言。け。の。む。を。い。く。わ。い。ま。ん
て。ま。け。せ。よ。ど。な。り。これ。け。書。け。の。む。を。す。の。の。か。い
あ。い。ま。づ。く。文。か。む。て。い。ら。り。ま。も。別。は。く。は。い。く
志。る。一。れ。を。い。ま。し。ま。い。に。ま。い。を。い。は。て。て。書。は
集。め。い。は。い。ま。言。集。は。も。源。氏。物。語。は。い。か。が。い。ま。を
か。む。此。文。の。む。を。い。ま。の。い。ま。の。い。ま。の。い。ま。の。い。ま。の。

ちいさなついでに

一言無きぬらうと申すもうたはるがむいふりけ文の
中に春秋はとばらぬと申すも意難うとば
らぬと申すもいふりけ文の意難うとばらぬ
と申すもいふりけ。

一 四季の歌をたはるの歌の歌あつてい
ゆきは物語のうらにききとばらぬも歌あつ
かしく秋の歌をたはるひいふりけ文の意
一 意難うとばらぬと申すもいふりけ文の
歌をたはるの歌あつていふりけ文の
よくはみききとばらぬと申すもいふりけ
一 意難うとばらぬと申すもいふりけ文の
けいふりけ文の意難うとばらぬと申すも
いふりけ文の意難うとばらぬと申すも

次書にもおはらばるおとあつて文かむいふりけ文の
らむやうにをよとめたり。叔まゝ天の地をたは
にも四季の歌は既にいふりけ文の意難うとばらぬと申すも
さまほと申すもいふりけ文の意難うとばらぬと申すも
四季の歌は既にいふりけ文の意難うとばらぬと申すも
まれぬと申すもいふりけ文の意難うとばらぬと申すも
いふりけ文の意難うとばらぬと申すもいふりけ。
一本文も師の教本をよとめ校合へていふりけ文の意難うとばらぬと申すも
いふりけ文の意難うとばらぬと申すもいふりけ文の意難うとばらぬと申すも
いふりけ文の意難うとばらぬと申すもいふりけ文の意難うとばらぬと申すも

みねとけ稲彦いふ

紫文藻錦一卷目錄

春部

初春_一

子日_三

踏歌_日

鶯_五

霞_日

春雲_六

餘寒_七

梅_日

柳_{十三}

春月_日

春夜_{十五}

春曙_六

歸雁_日

花_{十七}

山吹_{廿四}

藤_{廿五}

暮春_{廿六}

春雜_日

夏部

首夏_{廿二}

新樹_{廿三}

若竹_日

郭公_{廿三}

夕白_日

橘_{廿四}

八月雨_{廿五}

螢_日

夏月_{廿六}

瞿麥_日

水鷄_{廿七}

鶉川_{廿八}

夕立_{廿九}

納涼_日

篝火_{卅三}

夏雜_{卅三}

白下種
鳥
類
考
卷
上
第
一
章
第
一
節
鳥
類
考
卷
上
第
一
章
第
一
節

鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節

鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節
鳥類考卷上第一章第一節

鶯

鶯
鶯
鶯
鶯
鶯
鶯
鶯
鶯
鶯
鶯

に。云々

霞

若葉四丁オ

けいごのにかすこわらうて。何方け梢ぞこはる

源氏君門

あうげうわらわるほこ。あふしんかえん

あふしんかえん。あふしんかえん。あふしんかえん

あふしんかえん。あふしんかえん。あふしんかえん

あふしんかえん。あふしんかえん。あふしんかえん

春雪

推本廿七丁ウ 推本廿七丁ウ。あふしんかえん。あふしんかえん

侍 侍とあふしんかえん。あふしんかえん。あふしんかえん

序舞廿五丁ウ 序舞廿五丁ウ。あふしんかえん。あふしんかえん

あふしんかえん。あふしんかえん。あふしんかえん

あふしんかえん。あふしんかえん。あふしんかえん

オホシ あふしんかえん。あふしんかえん。あふしんかえん

あふしんかえん。あふしんかえん。あふしんかえん

同廿九丁ウ あふしんかえん。あふしんかえん。あふしんかえん

あふしんかえん。あふしんかえん。あふしんかえん

まゝ梢ぞもむらゝるもなまのうちに梅はけ
しきばいほいほいわらわらふらわらふら
ほがらうはなは紅梅いゝくやんやん
いゝくやんやんいゝり。

初音十ナク
花は番さうふん風のどにお打あきたる
いおまうけらあぢうくしえやきてあは
たうの(0)野あかひんこ
しあはるもいゝもはあはらうあはらう
催馬寮のニツ
こせらうせうたうぢうぢう花やのぢう
百三十三
あはるもはらうあはらうあはらうあはらう

しうけしきしききげにうたまは木たち
げうらうらうらうらう紅梅ははらうら
ふにわらわらうらうらうあはらうあはらう
ぢうぢう。

陳武石
あはらうあはらうあはらうあはらうあはらう
あはらうあはらうあはらうあはらうあはらう
梅枝四ノ大
あはらうあはらうあはらうあはらうあはらう
あはらうあはらうあはらうあはらうあはらう
あはらうあはらうあはらうあはらうあはらう

〇^五花のたたりはさすけしむらさきもいづか
 けしむらさきもいづか枝また見れば
 〇^四花のたたりはさすけしむらさきもいづか
 けしむらさきもいづか枝また見れば
 〇^三花のたたりはさすけしむらさきもいづか
 けしむらさきもいづか枝また見れば
 〇^二花のたたりはさすけしむらさきもいづか
 けしむらさきもいづか枝また見れば
 〇^一花のたたりはさすけしむらさきもいづか
 けしむらさきもいづか枝また見れば

君の心遣に
 花のたたりはさすけしむらさきもいづか

花のたたりはさすけしむらさきもいづか
 けしむらさきもいづか枝また見れば

〇^五花のたたりはさすけしむらさきもいづか
 けしむらさきもいづか枝また見れば
 〇^四花のたたりはさすけしむらさきもいづか
 けしむらさきもいづか枝また見れば
 〇^三花のたたりはさすけしむらさきもいづか
 けしむらさきもいづか枝また見れば
 〇^二花のたたりはさすけしむらさきもいづか
 けしむらさきもいづか枝また見れば
 〇^一花のたたりはさすけしむらさきもいづか
 けしむらさきもいづか枝また見れば

~~~~~  
~~~~~  
~~~~~  
~~~~~

廿三十一

梅の花

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

~~~~~

ア) 016 — 101

016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

101 016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

101 016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

101 016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

101 016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

101 016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

101 016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

101 016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

101 016 (5) 101

101 016 (5) 101

101 016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

101

101 016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

101 016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

101 016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

101

101 016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

101 016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

101 016 (5) 101 紅梅打色 101 016 (5) 101

Chinin-
chinin
chinin
chinin

Chinin- chinin chinin chinin
chinin chinin chinin chinin
chinin chinin chinin chinin
chinin chinin chinin chinin
chinin chinin chinin chinin
chinin chinin chinin chinin
chinin chinin chinin chinin
chinin chinin chinin chinin
chinin chinin chinin chinin
chinin chinin chinin chinin

柳

賢木四十丁
いけわ...池...岸...
は...
ら...
推本...

あま...
さ...
う...
ら...

うららかにあはれむ。

春月

赤梅花九丁才

しとほしくもまはりの月たのむはなはに
雲のくもるまはりの花とてはなはに
て大殿いかにあはれむ。

頃十三丁才

月たのむはなはに
あはれむはなはに
あはれむはなはに
あはれむはなはに
あはれむはなはに

あはれむはなはに

源氏書

あはれむはなはに
あはれむはなはに
あはれむはなはに
あはれむはなはに
あはれむはなはに
あはれむはなはに

梅廿二丁才

あはれむはなはに
あはれむはなはに
あはれむはなはに
あはれむはなはに
あはれむはなはに

あはれむはなはに

一う。花は木とまをうらうらとわらわらと
 あふまははのりたもーりまははのりたもーり
 わらわらとまをうらうらとわらわらと
 花のあふまははのりたもーりまははのりたもーり
花のあふまははのりたもーり
花のあふまははのりたもーり
 がめははのりたもーりまははのりたもーり
 ははのりたもーりまははのりたもーり
花のあふまははのりたもーり
 月をうらうらとまをうらうらと
 えぬははのりたもーりまははのりたもーり

たほみきまわりのあふまははのりたもーり

春曙

若葉ははのりた
 明いんてんてんてんてんてんてんてんてん
 花のあふまははのりたもーりまははのりたもーり
 名をまははのりたもーりまははのりたもーり
 まははのりたもーりまははのりたもーり
 まははのりたもーりまははのりたもーり
花のあふまははのりたもーり
花のあふまははのりたもーり
花のあふまははのりたもーり

かえりぼのこに身く鳥たちたはるは
こころをいかにたまたまいかに

帰雁

頃ナシキナオ あはれけのうも雁はくわい
けきみ。

ふもたはたはたのうらみ
やもきまの帰りの金宰相メナシき
こころをいかに

ハ中將 あはれいかにたまたまいかに

りみちやまがはて

花

曙紫ニテク 三月ははごきりなをき京花きり
すぎにくろ山はきり
えてたをすまも。雲はきり
う身はきり。のありまも
けらうせに御身はきり
けき。

風
里
花

花事ナシキナオ 花きり。のありまも。雲はきり

まゝ入
まゝ入
まゝ入

まゝ入
まゝ入
まゝ入

不
不
不

頭
頭
頭

〇すまにち年、のくく日ふるへきしあ

にらるー若木はさくつゆのまじり

めくろく兼おんりい。のまじり

ことわがしつるりしつるりしつるり

おろり。

〇二月廿日あまらふ一年京をわ

んぐーろりしつるりしつるり

くひーく南殿のさくも盛にならぬんびと

年花のえんは院の清き色。うちけくは。

すー新ひーも花もひさしー

すー新ひーも花もひさしー

今日日えきにんり。

今日日えきにんり。

〇い
〇い
〇い

〇い
〇い
〇い

〇い
〇い
〇い

朝
朝
朝

朝
朝
朝

○^{同上}みちのけまもあはれいさくしむけいびのよよと
 ひびく花菊の花けりくわすまゝく。いさくあはれ
 布ほろ君したるえ交あます。けいさくしむけい
 佛ぶつらむがさく。いさくあはれいさくしむけい
 ていさくあはれいさくしむけいさくしむけい
 まゝいさくしむけいさくしむけいさくしむけい
 ちん。
 ○^{同上}さくらの雪ゆきけりくわすまゝく。いさくあ
 けいさくしむけいさくしむけいさくしむけい

みちのけまもあはれいさくしむけい柏木のん
 けきいさくしむけい。花はなきりくわすまゝく。いさく
 けいさくしむけいさくしむけいさくしむけい。いさく
 ○^{律法五十一}弥生やよい十日あまのけりくわすまゝく。いさくあはれ
 ちん。いさくしむけいさくしむけいさくしむけい
 けいさくしむけいさくしむけいさくしむけい。いさく
 けいさくしむけいさくしむけいさくしむけい。いさく
 けいさくしむけいさくしむけいさくしむけい。いさく
 ○^{同上}さくらの雪ゆきけりくわすまゝく。いさくあ
 けいさくしむけいさくしむけいさくしむけい

すづろくをきこむるもあはれなりけり
 あまの朝ぼらけの雲をよみて
 は花のしるしをよみてはなれぬ
 ほひわらふときもあはれなりけり
 春にたのしみもあはれなりけり
 ねゆらぎの雲をよみてはなれぬ
 けしきよきときもあはれなりけり
 がくしよきときもあはれなりけり
 へはぬきもあはれなりけり

〇二一十

けしきよきときもあはれなりけり
 〇花をよみてはなれぬ
 ねゆらぎの雲をよみてはなれぬ

〇花をよみてはなれぬ
 ねゆらぎの雲をよみてはなれぬ

ねゆらぎの雲をよみてはなれぬ
 〇花をよみてはなれぬ

〇花をよみてはなれぬ
 ねゆらぎの雲をよみてはなれぬ

ねゆらぎの雲をよみてはなれぬ
 〇花をよみてはなれぬ

〇花をよみてはなれぬ
 ねゆらぎの雲をよみてはなれぬ

ねゆらぎの雲をよみてはなれぬ
 〇花をよみてはなれぬ

まりたむをいけ哉ふゝんりていふも
口十太才
 〇建も花のあゝりきしけいあゝ
 り一けしめいあゝりきしけいあゝ
 〇かきけあゝりきしけいあゝ
 一かきけあゝりきしけいあゝ
東方の作也
 〇かきけあゝりきしけいあゝ
 〇かきけあゝりきしけいあゝ
 〇かきけあゝりきしけいあゝ

〇かきけあゝりきしけいあゝ
 〇かきけあゝりきしけいあゝ
 〇かきけあゝりきしけいあゝ

早瀬六丁
 〇かきけあゝりきしけいあゝ
山吹
 〇かきけあゝりきしけいあゝ
 〇かきけあゝりきしけいあゝ
 〇かきけあゝりきしけいあゝ
 〇かきけあゝりきしけいあゝ

真木権世才
 三月にありて六条殿の清前の藤やぶ
 きてたきけあゝりきしけいあゝ
 〇かきけあゝりきしけいあゝ
 〇かきけあゝりきしけいあゝ

Handwritten notes in the top margin of the right page, including the word "Handwritten" and other illegible characters.

Main body of handwritten text on the right page, written in a cursive script.

Main body of handwritten text on the left page, written in a cursive script.

藤

Main body of handwritten text on the left page, including the character "藤" and other illegible characters.

わづりてい

春雜

花宴ニ丁ス

白くたゆくはれりなむてはなれぬをいふに

ちりゆく大さのこころ

胡蝶ニ丁ス

〇まよひをいのちのあなをたへりほり春は清らなり

あつたをほほをたのむるにいとほしき心花の道

らたはぬをのちのあなをたへりほり春は清らなり

はなをたへりほりほりほりほりほりほりほりほりほり

花宴ニ丁ス

十一

〇廿六

川がよもよもなくたもくをいふに

山ねはくもせけひなを

たれはつとめをせけひなを

ねはつとめをせけひなを

わりのつりの中をせけひなを

まはつとめをせけひなを

をたつとめをせけひなを

たつとめをせけひなを

つとめをせけひなを

さいふのふいふあぶじうたのよが^おま^りて
てれぬ

○^ロの^丁方^紫に^て佛に花たてまつりて^佛の^身に^花を^たて^{まつ}り^て
蝶^のし^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^を
し^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^を
おめて^て梅^の花^をさ^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^を
な^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^を
はせぬ

○^徳令^十丁^才
さいふのふいふあぶじうたのよが^おま^りて

こゝろものびまけたまらぬをさるる

推本世九丁才

○^年か^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^を
は^かけ^あら^ぬに^はか^けあ^らぬ^に
さ^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^を
に^梅の^花を^さら^ぬを^さら^ぬを^さら^ぬを^さ
さ^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^を
お^の草^木の^花を^さら^ぬを^さら^ぬを^さら^ぬを^さ
さ^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^を
か^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^をさ^らぬ^を

四月、天氣和、且清、
綠槐陰合、河堤、并

胡蝶、才、九、下、つ
あうりーてふまゐりてふさうさ
まゐりてふまゐりてふさうさ
さうさまゐりてふまゐりてふ
さうさまゐりてふまゐりてふ
さうさまゐりてふまゐりてふ
さうさまゐりてふまゐりてふ

〇三

若竹

日、十、七、十、ハ
あうりーてふまゐりてふさうさ
さうさまゐりてふまゐりてふ
さうさまゐりてふまゐりてふ
さうさまゐりてふまゐりてふ

葉一

郭公

荖、散、里、日、十、ハ
あうりーてふまゐりてふさうさ
さうさまゐりてふまゐりてふ
さうさまゐりてふまゐりてふ
さうさまゐりてふまゐりてふ
さうさまゐりてふまゐりてふ
さうさまゐりてふまゐりてふ
さうさまゐりてふまゐりてふ

荖、散、里、日、十、ハ

Handwritten text in a cursive script, likely a list or a series of entries.

又由

Main body of handwritten text on the right page, continuing the list or entries.

Vertical handwritten notes or corrections in the upper right margin of the right page.

Main body of handwritten text on the left page, continuing the list or entries.

出 船 七 月 廿 五 日 推 光 七 朝
出 船 七 月 廿 五 日 推 光 七 朝
出 船 七 月 廿 五 日 推 光 七 朝

橘

廿 五 日 月 廿 五 日 月 廿 五 日
廿 五 日 月 廿 五 日 月 廿 五 日
廿 五 日 月 廿 五 日 月 廿 五 日

五月雨

廿 五 日 月 廿 五 日 月 廿 五 日

に け ち り 終 了

又 月 雨 廿 五 日 月 廿 五 日

一 日 廿 五 日 月 廿 五 日

日 行 了

○ 長 雨 例 廿 五 日 月 廿 五 日

廿 五 日 月 廿 五 日 月 廿 五 日

廿 五 日 月 廿 五 日 月 廿 五 日

郵

堂十五丁方五月雨

冷標十七丁方

小
 大
 一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

夏月

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

一
 二
 三
 四
 五
 六
 七
 八
 九
 十
 十一
 十二
 十三
 十四
 十五
 十六
 十七
 十八
 十九
 二十
 二十一
 二十二
 二十三
 二十四
 二十五
 二十六
 二十七
 二十八
 二十九
 三十
 三十一
 三十二
 三十三
 三十四
 三十五
 三十六
 三十七
 三十八
 三十九
 四十
 四十一
 四十二
 四十三
 四十四
 四十五
 四十六
 四十七
 四十八
 四十九
 五十
 五十一
 五十二
 五十三
 五十四
 五十五
 五十六
 五十七
 五十八
 五十九
 六十
 六十一
 六十二
 六十三
 六十四
 六十五
 六十六
 六十七
 六十八
 六十九
 七十
 七十一
 七十二
 七十三
 七十四
 七十五
 七十六
 七十七
 七十八
 七十九
 八十
 八十一
 八十二
 八十三
 八十四
 八十五
 八十六
 八十七
 八十八
 八十九
 九十
 九十一
 九十二
 九十三
 九十四
 九十五
 九十六
 九十七
 九十八
 九十九
 一百

師...
は本...
室...
his...
何...
物...
...

...
...
...
...
...
...
...
...
...
...

瞿麦

紅葉...
...
...
...

○田水

...
...
...
...
...

常...

...
...
...
...
...
...
...
...

水鶏

...
...
...
...
...

明石...

なほなほのこゝろに　もよほし　ささげし　まき　うら　ひ　も　よ　ほ　し

鴉川

ねん　せい　ろ　う　さ　さ　げ　し　ま　き　う　ら　ひ　も　よ　ほ　し

し　出　ら　る　　藤原

藤原　わ　ら　の　池　の　舟　を　ま　り　　舟

う　し　は　を　さ　院　せ　う　　和

鴉　を　わ　ら　さ　せ　も　く　ち　ひ　も　よ　ほ　し　ま　き　う　ら　ひ　も　よ　ほ　し

く　し　も　う　る　　まき

夕立

新妻

火　お　も　ら　し　て　な　る　涼　　温

に　　明　　験　　は　わ　ら　む　　明

た　ま　を　此　内　侍　じ　も　い　　明

か　ら　る　　明

又　月　雨　を　い　も　な　む　　明

の　け　は　あ　く　さ　し　　明

あ　ぢ　の　に　き　　明　　明　　明　　明　　明

大將　け　君　ね　ま　る　　明　　明　　明　　明　　明

ひ　行　小　花　橋　け　月

大ぬ花橋に水
さきんまを成す
らうたに十(三)

取々残燈替壁影
藤々暗雨打窓也

山
一
呼
一

のまはこゝろにちかひのこゝろに
しのまはこゝろにちかひのこゝろに
いづれもあはれぬまはこゝろに
にまはこゝろにちかひのこゝろに
風よさらけまはこゝろに
ちかひのこゝろにちかひのこゝろに
ぬまはこゝろにちかひのこゝろに
まはこゝろにちかひのこゝろに

まはこゝろにちかひのこゝろに

納涼

まはこゝろにちかひのこゝろに
中河にちかひのこゝろに
まはこゝろにちかひのこゝろに
まはこゝろにちかひのこゝろに
まはこゝろにちかひのこゝろに
まはこゝろにちかひのこゝろに
まはこゝろにちかひのこゝろに

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 13 lines of cursive script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 13 lines of cursive script.

Handwritten title or section header in Arabic script.

Handwritten text in Arabic script, consisting of approximately 3 lines of cursive script.

此乃秋... 卷之七十一

Handwritten text in vertical columns on the right page, including some circled words.

Handwritten text in vertical columns on the left page, including the characters '夏' and '雜'.

出好ぶぢいもあまたなりーしつてくも
より見の火けひのいふもよそよそ
このまゝあり。

若葉千二十ク

げはいふいふいふーありてなめ木草
ゆやうあそいあそいあそいあそい
ぢぢの氷かからと火とまーあそいあそい
まもあそいあそいあそいあそい
あそいあそいあそいあそい
あそいあそいあそいあそい
あそいあそいあそいあそい

あうあうに君れ渚ナシたひヒせセいイあ

あうあうに君れ渚ナシたひヒせセいイあ

あうあうに君れ渚ナシたひヒせセいイあ

あうあうに君れ渚ナシたひヒせセいイあ

あうあうに君れ渚ナシたひヒせセいイあ

あうあうに君れ渚ナシたひヒせセいイあ

あうあうに君れ渚ナシたひヒせセいイあ

あうあうに君れ渚ナシたひヒせセいイあ

をかり水。のち。ついで。に。前。裁。を。ま。り。し。ま。し。め。
 涼。の。ち。に。あ。つ。き。の。ち。に。あ。つ。き。の。ち。に。あ。つ。き。
 下。も。あ。つ。き。の。ち。に。あ。つ。き。の。ち。に。あ。つ。き。
 汗。の。ち。に。あ。つ。き。の。ち。に。あ。つ。き。の。ち。に。あ。つ。き。
 身。の。ち。に。あ。つ。き。の。ち。に。あ。つ。き。の。ち。に。あ。つ。き。
 う。の。ち。に。あ。つ。き。の。ち。に。あ。つ。き。の。ち。に。あ。つ。き。

菅文書録一巻 号

